

姫路で見る 2026年8月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 8/06 下弦 
- 8/13 新月 
- 8/20 上弦 
- 8/28 満月 



8月15日 21時の空
※月は描いていません

日没の後、**こと座のベガ**、**わし座のアルタイル**、**はくちょう座のデネブ**の明るい一等星をつないでできる「夏の大三角」が見えています。空の高いところまで昇るので、よく目立ちます。この時期は、夜のはじめの頃から明け方まで一晩中見えているので、まさに夏のシンボルと言えます。空が十分に暗ければ、南へと続く「天の川」の淡い光も見えることでしょう。今年の「伝統的七夕」は8月19日で、**織姫星(ベガ)**と**彦星(アルタイル)**がデートできるように祈りましょう。

南の空の低いところでは、**いて座がさそり座**を弓矢で狙っています。サソリが暴れて毒針を振り回さないよう、見張っているかのようです。**いて座**には「ティーポット」と呼ばれる星の並びがあって、その注ぎ口から湯気が出て、「天の川」につながっているように見えます。

金星は日の入り後の西の低空で、マイナス4.3等からマイナス4.6等と明るく輝き、15日には太陽から最も離れる「東方最大離角」となります(上図では沈んでいて見えません)。

「ペルセウス座流星群」は12日の深夜から13日の明け方にかけて見頃になります。月明かりがないため、空が暗いところでは1時間に30～40個くらい見えそうです。